

# 報恩寺だより

No. 45  
平成27年4月1日発行  
おたすけ観音 報恩寺  
綾瀬市寺尾南2-10-1  
電話 0467-78-7160  
FAX 0467-79-1567

## 大般若祈祷会勤修について

5月17日は、おたすけ観音の縁日です。皆様の家内安全、身体健全、諸災消除、諸縁吉祥を祈り、大般若祈祷会を次により行いますので、お誘い合わせのうえ御参詣くださるよう、ご案内申し上げます。

### 記

期 日 平成27年5月17日(日)

日 程 午後1時 御詠歌  
午後2時 大般若祈祷会  
午後3時 落語 隅田川 馬石 師匠  
午後4時 小斎

祈祷料(2,000円)は、この報恩寺だよりを郵送した封筒にいれ、  
当日御志納お願い致します。

## 特別御寄進

次の方々から特別御寄進を頂きました。各位の御芳志に感謝すると共に供養菩提のご冥福をお祈りいたします。

平成25年10月 山口裕久様 平成26年4月 蟻子幸三郎様 平成26年7月 近藤マサノ様  
平成25年12月 武藤一志様 平成26年5月 近藤正昭様 平成26年10月 戸井田壽一様  
平成26年2月 橋川忠弘様 平成26年5月 奥津祐之様  
平成26年2月 山下修様 平成26年5月 近藤博保様  
平成26年3月 早川ヒデ子様 平成26年6月 山口勇二様

### ◆ 報恩寺年間行事予定 ◆

4月 8日	花祭り	12月 31日	除夜の鐘
5月 17日	大般若祈祷会	1月 1日	お年始詣り
8月 7日	大施餓鬼会	2月 15日	涅槃会
9月 14日	秋彼岸会法要	3月	春彼岸会法要
12月 8日	成道会		



平成26年8月11日 報恩寺上空より夕焼けを望む



平成26年12月5日 銀杏



平成27年3月26日 春の報恩寺



## 「平気で生きている」

大本山永平寺第七十八世宮崎奕保禪師の言葉より

人間はいつ死んでもいいと思うのが、悟りやと思うておった。

ところがそれは間違いやつた。

平気で生きていることが、悟りやつた。

平気で生きておることは難しい。

死ぬときが来たら死んだらいいんやし、

平気で生きておれるときは、平気で生きておったらしいのや



禅師が106歳で遷化される直前に残された言葉です。

わたしは「平気で生きている」をいつも、心にとめています。私なりの解釈ですが、どんな時でも、前向きに感謝しながら生きていきたいと思います。

峨山道行

本年は總持寺二祖峨山韶碩禪師六百五十回大遠忌の年です。報恩寺でも昨年十月二十日に檀信徒の皆様と共に大本山總持寺にお参りに行つてきました。

峨山禅師には超人的な伝説があり、能登の總持寺住職と永光寺住職を二十年間にわたり兼務し、毎朝未明に永光寺の朝課をすますと十三里（五十二キロ）の山道を通つて總持寺



峨山禪師には超人的な伝説があり、能登の  
總持寺住職と永光寺住職を二十年間にわたり  
兼務し、毎朝未明に永光寺の朝課をすますと  
十三里（五十二キロ）の山道を通つて總持寺  
の朝課をつとめたといわれています。マラソ  
ンの選手以上のスピードで、険阻な山道を走  
り抜けたということになります。今もなお、

總持寺では大悲心陀羅尼を一音ずつ長く引いて読む「大真讀」と呼ぶ諷經法があり、これは永光寺からやつてくる禪師を待つために始められたと言われています。



足跡を慕い多く  
の人々が、峨山  
道を訪れていま  
す。

その峨山禪師の超人的な伝説をほんのわずかですが、体験してみたいと思ひ

峨山禅師が実際に走り抜けたものにできるだけ近いものと思い、まずは、威儀即仏法ということで、出で立ちから極めようと、托鉢衣に手甲脚絆、網代笠を探したのですが、網代笠以外は大事にしまいすぎて見つからず、何とも不思議な恰好で羽田空港を飛び立ちました。

日程は平成二十六年十一月六日・七日の一泊二日の行程です。能登空港からマイクロバスで移動し、永光寺に向かい、拝登諷経をすませ五老峰より峨山道巡行に入りました。

幾通りの林道が交差しており、途中分かれ道には、案内板が出ていますが、先達がいなければ、目的地にたどり着くことはできなかつたでしょう。



總持寺祖院の所有地にある日本百名水「古和秀水」（こわしゅううど）からは、總持寺祖院の雲納さんに案内をしていただきました。こ



ですが、参加者の中にはスラックスに背広という出で立ちの方もいたので快適で安全なルートを案内していました。

わたしが想定していたのは道なき道を分け入り、けものみちを突き進むという映像を撮りたかったのですが、移動研修の中で勝手な行動をいい方向音痴の私が、山



一人で土地勘のな  
に入つて行つたら  
大変な迷惑をか  
けたことでしょ  
う。



總持寺の開祖である瑩山禪師が竜神のお告げによって知らされたという靈水。「子には清水（しゅうど）、大人には酒になる」という伝説からコワシュウドと名付けられた。總持寺祖院でもお茶の水として愛用されている。



曹洞宗大本山總持寺 神奈川県報恩寺本山参拝団 〔平成26年10月20日〕



YouTube にて「峨山道巡行」で検索すると研修内容を見ることができます。